

東京都市計画道路幹線街路放射第5号線

第16号

三建・放5かわら版

VOL.16 2020.2
【発行】
東京都第三建設事務所
〒164-0001
中野区中野4-8-1-2F
Tel.03-3387-5347

放射第5号線及び三鷹3・2・2号線は、令和元年6月8日に4車線で開通しました。高井戸西区間では本線の開通後、沿道空間（中央自動車道の高架外側）の整備を実施してまいります。

本号では、今後の工事の流れ、今年実施する街路樹工事、将来の植栽計画についてお知らせします。

主な植栽予定樹種

【常緑高木】		【落葉高木】	
◆ シラカシ（主要木）	● クロガネモチ	● モッコク	● ソヨゴ
● コブシ	● ヤマボウシ	● ハナモモ	
【常緑中木】		【落葉中木】	
● フィリサカキ	● サザンカ	● イロハモミジ	● ヤマボウシ
● キンモクセイ			
【低木・地被類】			
● オオムラサキツツジ	● サツキ	● クルメツツジ	
● ハマヒサカキ	● トベラ	● ジンチョウゲ	● コクチナシ
● シャリンバイ	● アジサイ	● フィリヤブラン	● ツツブキ

■ 大気浄化に優れた種、◆ 玉川上水の緑との共通種、● 花や実、紅葉や斑入り葉の美しい種

問合せ先
東京都 第三建設事務所 工事第一課
環境対策担当・設計総括担当
Tel 03-3387-5347・5348

【発行】
東京都第三建設事務所 工事第一課
東京都中野区中野4-8-1 中野総合庁舎2階
第三建設事務所のホームページ
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/sanken/index.html>

令和元年度
登録10号

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

今後の主な工事の流れと街路樹工事について

街路樹工事

自転車空間の整備等に伴い植樹帯の位置が変更となるため、右の取扱方針に基づき、既存の街路樹の剪定・撤去等を実施します（令和2年4月から実施予定）。

支障物移設工事

電線類の地中化に先立ち、支障となる地下埋設物（水道管、ガス管等）を移設します。

無電柱化工事

電線共同溝を整備し電線類を地中化した後、電柱を撤去します。

歩道整備工事

歩行者空間や自転車空間、新たな植樹帯を整備します。道路照明も更新します。

植栽工事

新たに整備した植樹帯に植栽を行います。

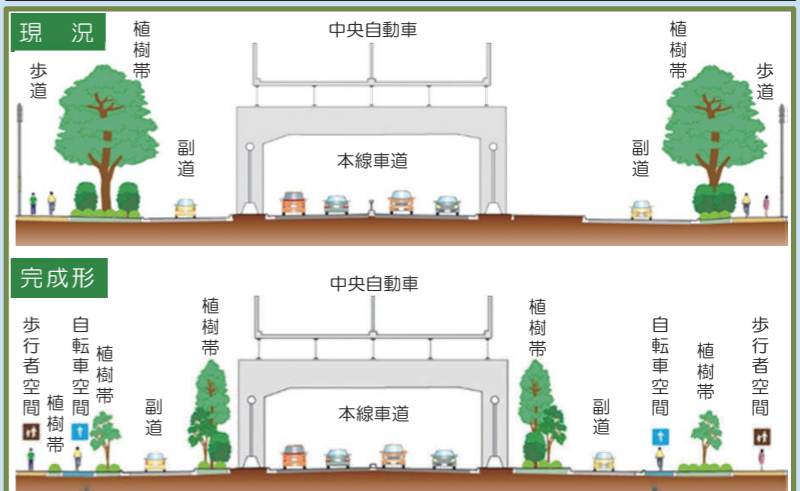
街路樹の取扱方針

○高木（樹高3m以上）

取扱方法	解説	現地の目印
存置	現在の植樹帯と将来の植樹帯の位置が一致する箇所では、原則として既存の樹木を現在の位置で存置します。 存置する樹木は、維持管理のため、今回の工事で剪定を行います。	青色
移植	現在の植樹帯と将来の植樹帯の位置が異なる箇所では、幹周りが小さく、移植が可能な樹木に限り、今回の工事で一時的に別の場所へ移植します。 新たな植樹帯を整備した後、再移植し、本路線へ戻します。	黄色
撤去・更新	現在の植樹帯と将来の植樹帯の位置が異なる箇所にある樹木や、樹木診断で存置・移植に適さないと判断された樹木は、今回の工事で撤去します。 新たな植樹帯を整備した後、別の若木を植栽します。	赤色

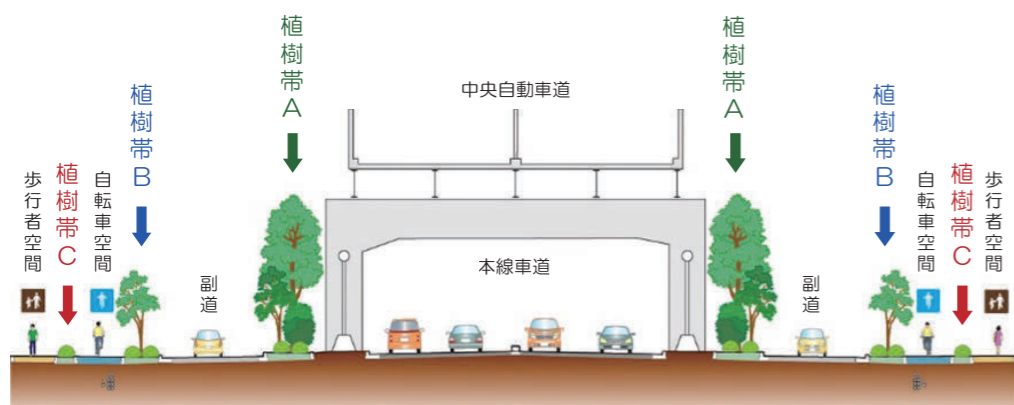
○中低木類（樹高3m未満）

今後の工事で支障となるため、原則、撤去・更新となります。



植樹帯を含む沿道空間の新たな植栽計画等について

I 沿道空間の基本方針



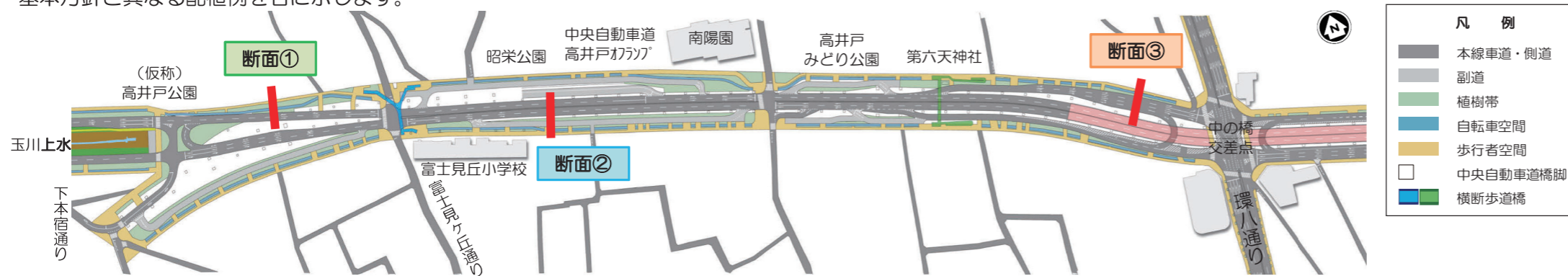
植樹帯A (中央自動車道—副道間) 大気改善と高速道路の圧迫感の軽減に配慮
シラカシ・クロガネモチなどの常緑高木を用い、ボリュームのある緑を確保します。
中木として、杉並区の樹木であるサザンカなどを用いて、彩りも演出します。

植樹帯B (副道—自転車空間間) 明るく見通しの良い空間と樹陰の確保に配慮
庭園や庭木にも用いられるソヨゴ・モッコクなどの常緑小高木を単木状に配することで、見通しと樹陰を確保します。
また、中木としてキンモクセイ・フィリサカキなど、低木としてオオムラサキツツジ・ジンチョウゲなどの花木や斑入り種を用いて、彩りや季節感を演出します。

植樹帯C (自転車空間—歩行者空間間) 明るく見通しの良い空間と季節感の演出
低木を中心に、サツキ・コクチナシ・フィリヤブランなどの花物や斑入り種を用いて、彩りや季節感を演出します。

II 計画平面図

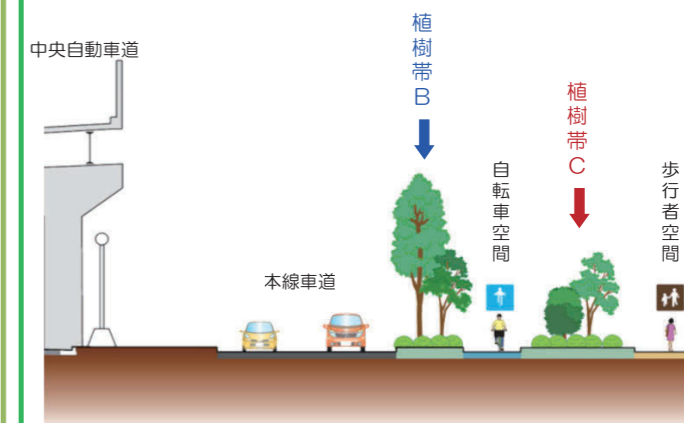
中央自動車道の橋脚やオフランプ・横断歩道橋・副道の配置や形状から、上記の基本方針と異なる配植となる場合があります。基本方針と異なる配植例を右に示します。



基本方針と異なる配植例

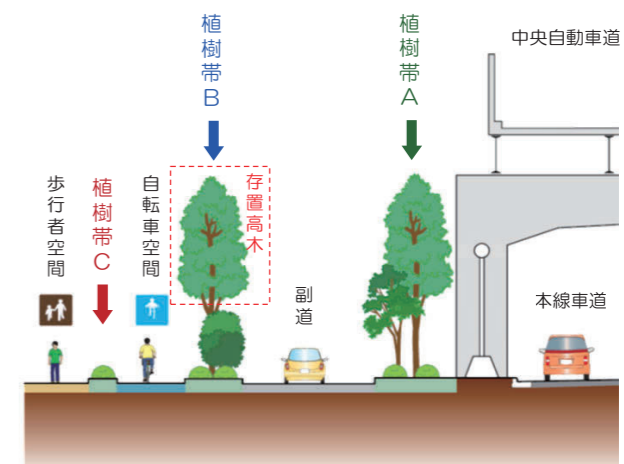
① (仮称) 高井戸公園付近

副道がない区間のため植樹帯Aが存在しませんが、植樹帯B・植樹帯Cに幅があるため、ここに高木(一部は存置高木)や中木を配植します。



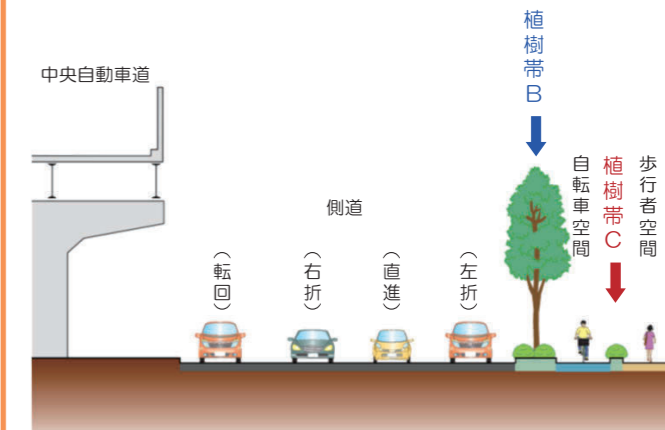
② 富士見丘小学校付近

現在ある高木の一部を存置するため、植樹帯Bにも高木が配置されます。



③ 中の橋交差点付近

交差点付近で植樹帯Aが存在しないため、植樹帯Bに高木(一部は存置高木)を配植し樹陰を確保します。



III 主な植栽予定樹種

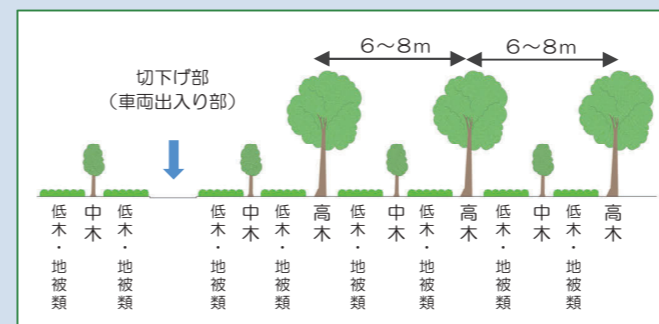
落ち葉の少ない常緑樹を主体に、以下の種類を配植する予定です。これらの写真は、4頁に示します。

区分	植樹帯A	植樹帯B	植樹帯C
常緑	高木	◆シラカシ、◆クロガネモチ、◆モッコク、◆ソヨゴなど	
	中木	●キンモクセイ、●サザンカ、●フィリサカキなど	
	低木	●オオムラサキツツジ、●クルマツツジ、●サツキなど	
	地被	■シャリンバイ、■ハマヒサカキ、■トベラなど	●ジンチョウゲ、●コクチナシなど
落葉	高木	◆コブシ、●ハナモモなど	
	中木	●ヤマボウシ、◆イロハモミジなど	
	低木	■アジサイなど	

■大気浄化に優れた種、◆玉川上水の緑との共通種、●花や実、紅葉や斑入り葉の美しい種

※かわら版第9号で主な植栽予定樹種をお知らせしていましたが、その後の検討で一部変更となっています。現時点での予定であり、今後も変更が生じる場合があります。

標準の配植 (車両進行方向)



- 高木の植栽間隔は、標準的な6m~8mとします。
- 中木は、高木間に1~2本とし、列植はしません。
- 交差点や切下げ部付近は、運転者の目線より低い低木・地被類を配植し、視野の確保に努めます。